



梅村 勝久 議員

産業振興策

企業誘致の現状は？

情報を精査し、誘致につなげたい

答

市の人口減少、財政問題等を考えれば産業振興策は最重要課題と捉える必要があり、「企業誘致」と「安曇川駅周辺活性化」の2政策について問う。

問 企業誘致の現状は。用地の確保、誘致行動、県との連携の面から問う。

答 従来からのマキノ町西浜と安曇川町南船木については適地として整備を進めています。

答 商工観光部長

その他にも市内の企業誘致推進プロジェクトチームを中心に、誘致可能な空き地等の情報を収集しており、約90件の情報がありま



企業立地 マキノ町西浜候補地

した。全情報を精査し、企業誘致につなげたいと考えます。

誘致の手法は、市から企業への積極的なアプローチが非常に重要と認識しており、「滋賀県産業立地推進協議会」では本市もメンバーの一員として、各種フォーラムや交流会に参加し、企業にPRを行っています。今後とも情報発信や企業へのセールスに努めます。

問

平和堂解体以降も一向に進まない安曇川駅周辺活性化の検討について問う。

答 予算段階では「安曇川駅周辺活性化検討委員会を平成26年度末までに19回開催する予定であったが、実際の開催回数と議論の経緯を問う。

答 商工観光部長

委員会を6回、正副会長会議を3回開催しました。会議では6つの再生項目を示し、現状調査報告を受け、意見交換会や、総合的な活性化の方針および土地利用の活用方法について調査審議を行いました。

問

昨年6月には「9月頃までに方向性をまとめ、活性化の基本計画策定を行う」とされた。しかし、本年度当初予算でも5回の委員会開催と中心市街地活性化基本計画策定のための委託料が予算計上された。方向性を出しあぐねる現在、基本計画の先送りを懸念する。改めて方向性確定の時期と基本計画を示す時期を問う。

答 商工観光部長

近畿経済産業局と協議し、誘客施設の整備や市街地再開発等の中核事業が明確に示されない中で中心市街地活性化法に基づく同基本計画の活用はなじまないと指導をいただきました。このことから、基本計画という位置づけではなく、平和堂の跡地利用を含めた安曇川駅周辺の活性化に特化した形で進めていきたいと考えています。また、事業内容の説明と中間報告も果たしていきたいと思います。



安曇川駅前旧平和堂跡地